

●国交大臣への陳情関連が「交通新聞」で紹介されました●

2022年（令和4年）4月19日付「交通新聞」のコラム欄「墨滴」に、齊藤鉄夫国交大臣への陳情（2022年4月13日に国交大臣室で面会）及びそれに関連した内容が掲載されました。交通新聞社様ご許可済みにて、下記にご紹介します。

（一社）日本観光通訳協会

交 通 新 聞 2022年（令和4年）4月19日 火曜日 （日刊）

墨滴

JTBが
宿泊施設の
予約状況、
独自アンケ
ートなどを

基に算出した今年のゴールデンウィーク（GW）の国内旅行者数の推計は1600万人（前年同期比68・4%増）。旅先は近隣から遠出を計画する人が増えるとみている▼今年で就航10周年を迎えるLCC（格安航空会社）のジェットスター・ジャパン。国内LCCとして最速で累積旅客数3000万人に達するなど、成田空港を拠点に新たな観光需要を創出してきた。同社では「今月の国内線運航率は98・9%（計画比）。GWに関しても計画通りに運航する」という▼一方、訪日旅行の回復はまだまだ見通せない。関係者は苦境を抜け出せず、このほど通訳案内士で構成する2団体が齊藤鉄夫国土交通大臣に、給付金の支給などを求める陳情書を提出した▼日本政府観光局（JNTO）の調べでは、昨年の案内士試験の受験者数が2019年比で半減。団体は「訪日旅行が再開しても質の高いガイド不足に陥る」と懸念しつつ、「（ガイドを）続けたいという人たちも生活がギリギリの状態」と苦境を訴えた▼リタイアした人が「スキルを生かしたい」とガイドを務めるケースが多かったが、近年は若者層の志望も多いよう。初めて訪れた外国人旅行者にとり、日本の印象を決める「顔」。「一番長い時間を過ごす重要な民間外交官」（某副大臣）と称する声もあり、国の支援案件の一つとして検討すべきではないだろうか。